# 輸出事業計画

申請者名:日本ホワイトファーム㈱札幌コンソーシアム

品 目:鶏肉

# 1. 輸出における現状と課題

### 1)現状

様式2

・日本ハムグループは、主に香港に冷凍鶏肉を輸出しており、令和2年次で香港:年間239トンを輸出。

### 2課題

- ・香港ともに今までプロモーション活動や商談会への参加等の販促活動を実施したことがなく、顕在的な需要に対してアプローチしているのみで、日本産の強みを強く活かしたプロモーションが出来ていない。
- ・業務用パック(2kg)での輸出のみを行っており、現地でニーズが高まっている小分けパック輸出に対応できていない等、需要を捉えきれていない。

# 2. 輸出事業計画の取組内容

- ・日本産の長所を活かした文言とイメージで需要を捉えるプロモーションを行う予定。
- ・各商品、イメージアップに向けたステッカー等の販促ツールの作成や、現地販売時における製品への貼付等によりブランドカ向上を図る。
- ・また、日本ハムグループが持つ食肉ブランドを活かし、現地でのブランド価値認知向上に資する取組を実施。
- ・商品規格に関しては、パッキングが細かいリテーラー向け等のニーズに合致した商品作りを目 指す。
- ・試食会等の個別の販促イベント及び輸出EXPOの参加を実施を検討する。

イメージ戦略① (香港)	日本ハム(株)、ジャパンフード(株)を中心に実施	現地リテーラー向けに日本産の強みを表現する画像と 文言の販促ツールの作成、貼付や試食提供等による 販促活動を計画。輸出EXPOに参加他。
ブランド価値向上 (香港)	日本ハム(株)、ジャパンフード(株)を中 心に実施	日本ハムグループのブランド価値向上に向けた商標登録のための調査、および実施への取り組み。

## 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

日本ホワイト ファーム札幌 生産者 食肉処理施 設

日本八人株 日本ハムビジネスアソシエ(株) (事務局)

ジャパンフード(株) (輸出事業者)

- ・今後の増羽に 向けた取組
- ・生産性の高い 生産・処理への取組
- ・輸出促進に向けた取組企画
- マーケットニーズを捉えた 商品規格の開発
- -補助事業の総括、会計処理
- ・輸出先国へのプロモー ションの実施(販促ツー ルの活用等)
- ・輸出イベントへの出展

この他、北海道では関係機関と連携し、オール北海道としての輸出の取組を推進しており、本コン ソーシアムに対しても必要に応じた支援が得られる体制。

#### 【食の輸出拡大戦略推進本部】

- 本部長: 担当副知事 本部員: 関係部長
- 庁内の横断的連携による執行体制の確立

北海道地域農林水産物等輸出促進協議会 (農林水産・食品産業等に関連する機関・団体)

#### 【道産食品輸出拡大戦略推進協議会】

(関係機関·団体·国等)

・道産食品の輸出拡大に関する情報共有・連携

海外販路開拓支援プラットホーム (支援機関の連携)

農林水産物·食品輸出促進 合同チーム (農水省、経産省)

- ○漁業関連団体 ○農業関連団体
- ○産業支援機関 ○金融機関
- ○試験研究機関 ○大学等教育機関



支援

## 【輸出相談窓口】

- OJETRO北海道
- ○北海道農政事務所
- 〇北海道国際ビジネスセンター(HIBC)

輸出に取り組む

支援 道内事業者

道や金融機関等の海外拠点

## 4. 輸出目標額

	現状 (令和2年度)	目標年 (令和5年度)
輸出額(円)	23,000,000	39,000,000
輸出量(t)	239	310
輸出先国	香港	同左